

## 行政調査報告書「経済福祉常任委員会」

平成30年7月17日～19日

### ■社会福祉法人桜福社会 認定こども園 こどものもり（埼玉県北葛飾郡松伏町）

『認定こども園について』



認定こども園は、幼稚園と保育園の両方の良さを持つ施設のこと。この園は両方の園舎が一体となっている全国初の施設である。異年齢保育により、園児同士の協調性や信頼が生まれ、少子化の現代には理想的な環境であった。また、クラスや担任を決めておらず、職員の休暇が取りやすい。園舎は木造平屋の大きな一軒家のように、園庭には多くの

の樹木があった。本市の園においても参考にしたい。

### ■宮城県東松島市・一般社団法人東松島みらいとし機構（HOPE）

『再生可能エネルギーについて』

HOPEは、市や地域、企業の間に入り、震災復興や再生可能エネルギー等による持続可能な社会の構築を支援するための組織である。その取り組みに「スマート防災エコタウン電力マネジメントシステム」がある。災害公営住宅や病院、公共施設を自営の送電線で結び、太陽光発電による電力を供給し、エリア内で消費する。災害時に発電所から電力供給が止まっても、3日間は自前で電気の調達ができる。本市での新たな開発やまちづくりにおいて参考にしたい。



### ■農業生産法人 株式会社GRA（宮城県亶理郡山元町）

『スマートアグリについて』



東日本大震災の津波で、多くのいちご農家が被災した。復興と農業を強い産業にするため、同町出身の若手のIT企業家により会社が設立された。農家の経験と勤による栽培から、IT技術の活用により、いつでも安定した品質で効率的な生産が可能になった。独自の流通ルートを持ち、海外展開もしている点や商品のブランド化（ミガキイチゴ）に精力的に取り組んでいる点が参考になった。